

本建発第 155 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

埼玉県本庄市長 吉 田 信 解



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記について別紙のとおり回答します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

埼玉県 本庄市

少子高齢化が進み経済情勢も混迷を深める中、本市においても総予算に対する社会福祉予算配分比率が増加し、反面道路関係予算は低下を余儀なくされている、一方で、市民の日常生活に密着する「道路」に対する要望は、幹線道路や地域内道路、新設改良や維持管理を問わず多岐に渡り根強い。地域経済の安定と持続的発展のためにも、道路特別会計が廃止となり一般会計となった後も、道路予算の安定的な財源確保は重要課題である。

1. 国道17号(本庄道路)は、現道国道17号の交通の質・量を見ても必要であり、上信越・関越自動車道(高規格幹線道路)の代替路線としての機能等、国土形成上重要な幹線道路であることは明らかであり、事業化されていることから国の責任で整備すべきであり、早期に整備されることが、地域経済の発展に寄与するものでもある。
2. 本庄早稻田駅周辺土地区画整理事業は、平成25年度末の工事完了を目標に、埼玉県が補助事業者となり、企業集積や行政施設、商業施設の誘致を進め、本庄地方拠点都市地域の発展の核となる新たなまちづくりの事業として計画的に推進してきたが、今後においても自立的かつ持続的な地域経済の発展のため安定した事業の推進が必要不可欠であり、これら市街地整備の計画的推進のためにも道路整備にかかる予算措置が重要である。
3. 通学路の歩道設置や狭隘道路の解消は、市議会でも話題にあがるなど、道路整備に対する地域住民からの要望は依然として根強いものがある。また、本庄駅北口周辺は、行き止まりや狭隘な道路が多く、老朽化した家屋の更新が進まないことから重点密集市街地に指定されており、防災性向上の面からも生活道路の整備改善を図ることが本市の道路行政の重要課題となっており、これら生活道路の整備改善のための予算措置が重要である。

以上を踏まえ

○補助対象の拡充

○道路整備事業に対しての「補助率の嵩上げ」

○地方都市の郊外や中山間地域に対しての補助の充実
を要望します。

②－１ 地域の現状と抱える課題

埼玉県 本庄市

○現状 本市は、古くは中山道・鎌倉街道と利根川という恵まれた交流条件を持ち、中山道最大の宿場町として栄えた。現在ではJR高崎線本庄駅・八高線児玉駅、上越新幹線本庄早稲田駅、関越自動車道本庄児玉IC、国道17号・254号・462号等高速交通と主要交通の結節点であり、人とモノが集まる交流拠点としての「特性」を持っている。 ・主要幹線道路 本市の主要幹線道路である国道17号は、国の大動脈として機能する道路として交通が集中しているため、慢性的な渋滞の発生と交通事故が多発している。また、災害時の緊急輸送道路として位置づけられており、バイパスとしての「本庄道路」の早期整備が必要となっている。 このほか、複数の県道が周辺主要都市を結んでいるが、特に県道花園本庄線は、関越自動車道本庄児玉ICや本庄早稲田駅周辺と深谷市・熊谷市とを結ぶ新設道路であり、県北地域全体の発展を担う主要幹線道路として地域住民から早期整備が望まれている。 ・地域内道路 本庄早稲田駅前周辺では、環境共生やユニバーサルデザイン等に配慮した駅前広場や幹線となる都市計画道路を配置し、土地区画整理事業によるまちづくりが進めており、先進的な市街地になることが期待されている。 既成市街地では、日常生活の利便性と安全性の向上のため道路整備が必要であるが、現在は4m未満の生活道路が多く、市道の歩道整備率も低い状況であり整備改善が必要である。	○課題 ・国道17号は、慢性的な交通渋滞の解消と多発する交通事故の防止や老朽化した神流川橋の安全性の確保など、国土形成上重要な幹線道路ネットワークとしての機能保持が課題となっている。また、交通の円滑化を図り、本庄地方拠点都市地域の中心拠点である本庄早稲田駅周辺開発地区へのアクセス強化が求められているが、幹線である国道17号とそれを結ぶ十間通り線の整備が進んでいない。 ・合併による広域化のため、道路の管理延長が伸びたことから、予算規模と管理延長の乖離が発生し、地域内交通の安全性や利便性の向上に向けた、計画的な幹線道路の新設、道路改良の速度が落ちている。 市街地では、消防活動等の支障となる狭隘道路の解消が進まず、防災上も機能の強化が求められている。また、人口減少や高齢化、後継者不足などによる空き店舗の増加など、まちなかの環境悪化が進んでいる。
--	--

②-2 地域の目指すべき将来像

埼玉県 本庄市

平成20年3月に策定された新たな「本庄市総合振興計画」においては、本庄市の将来像として

「あなたが活かす、みんなで育む、安全と安心のまち 本庄 ～世のため、後のため～」

と、本市の偉人である塙保己一の遺した言葉「世のため、後のため」を基本に、都市基盤分野の政策目標【自然と人に優しく、多彩な交流が生まれるまち】の実現を以下の重点施策により進めていく。

「国道17号本庄道路の整備」

○現在、本庄道路が計画されている区間の国道17号は慢性的な交通渋滞で、交通事故が多く発生している状況です。

本庄道路が整備されると、交通渋滞の緩和や交通事故の防止、災害時の緊急輸送路確保等に大きな効果が期待されており、本庄道路を早期整備し安心安全なまちづくりを目指します。

「本庄早稲田駅周辺区整備の推進」

○早稲田リサーチパークと連携した研究施設、産業施設や賑わいの核となる広域的な商業施設をはじめとする各種企業の誘致を進め、本庄市発展の核を創出するため、土地区画整理事業によるまちづくりを推進し、「職・住・遊・学」を備えた魅力あるまちづくりを目指します。

「良好な住環境を備えたまちづくり」

○本市の地域の特性に合わせた計画的なまちづくりを推進するとともに、幹線道路、生活道路の整備や、災害に強い道路築造や道路網づくりと、歩道整備、バリアフリー化を進め市民生活の利便性や安全性を確保することを目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

埼玉県 本庄市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・総合的な安全対策及び危機管理の強化 ・都市交通の快適性、利便性の向上	○国道17号本庄道路の早期整備	○国道17号の整備により、交通渋滞が緩和され、交通事故の防止や緊急車両及び災害活動の緊急輸送道路の確保が出来る。	
・地域活力の向上	○本庄早稲田駅周辺地区整備の推進	○本庄早稲田駅前周辺では、土地区画整理事業によるまちづくりが始められており、整備後は、環境共生やユニバーサルデザイン等に配慮した本庄市と周辺市町の核となる先進的な市街地の整備が出来る	
・地域活力の向上 ・良好な生活空間・自然環境の形成	○良好な住環境を備えたまちづくり	○本市の地域の特性に合わせた計画的なまちづくりを推進するとともに、市民生活の利便性や安全性を確保するため、幹線道路、生活道路の整備や、災害に強い道路築造や道路網づくりと、歩道整備、バリアフリー化の整備が出来る。	